

(第三種郵便物認可)

顧客の立場から
ベストプラクティスを追求する保険仲立人
株式会社エヌアイビー 6

地域密着型の独立系保険仲立人
首里城火災で求められた調整能力

1997年10月、福岡県代理業協会会長 安河内繁喜が発起人となり北九州の損害保険代理店の有志を募り、株式会社西日本インシュアランスビジネス(現・株式会社エヌアイビー)が設立された。初代代表として長

なぐ訪れていた首里城が火の海となっており、何が起きているか思考が追いつかず、ただただ茫然とテレビの画面で現在起こっている状況を眺めることしかできなかった。首里城は、弊社が指名保険仲立人として入札

な周知活動を続けていきたい。1996年の保険業法改正から今年で28年目を迎える。代理店制度により出来上がった保険流通のしくみに風穴を開けるべく導入された保険仲立人制度であるが、ご存じの通り、まだまだ認知度も低く収入保険料ベースではマーケットシェア1%にも達していない。ただし、一定の顧客層の中

芳弘が就任し福岡財務支局長登録第4号として営業を開始。日本版金融ビッグバンの「フリー・フェア・グローバル」という基本構想に基づき、

なかでも最も印象的な出来事としては2019年10月31日に沖縄県で発生した首里城火災での事故対応の事案である。早朝、元請保険会社の担当社員から「今から首里城の件で御社へ伺います」との慌てた声で緊急連絡が入った。朝のニュースを見ていなかったので、一瞬何が起ったのか状況が把握できず、改めて聞いてみると首里城が火災で燃えているとのこと。慌ててニュース映像を確認してみると、これまで物件確認やリスク調査で何度と

事故発生時に契約者にとって満足いく、納得のいく保険金支払を行うことは保険媒介に携わる者としての使命であるといえる。そのためには契約者の意向に沿った補償内容で契約媒介を行う必要がある。ただし当然ながら企業・組織には予算の制約があり、限られた予算のなかで契約者の意

向に沿った保険設計を行う調整能力もまた保険仲立人に求められる重要な役割である。当該契約に關しては、事故以前に支払限度額を引き上げていることもあり、限度額について賛否はあったものの一定程度保険としての役割を全うすることができたものと考えている。この事案においては元請保険会社による多大な努力のおかげもあり事故から半年後に保険金支払いを無事完了することができ、契約者・被保険者からも一定の評価を頂けたものと思っている。

現在、2026年に正殿復元予定で工事が進んでおり、復元された際にはぜひ沖縄へ足を運んでいただきたい。そこには国・県・財団・保険会社の多大なる尽力と、県内外からの多数の寄付、そしてわずかながら保険仲立人の貢献があったということを感じ出しながら見たいだけにとこれ以上の喜びはない。

若くはスタッフがチームとなってクライアント企業とのリスクマネジメントに当たっている。昨今、損害保険業界では代理店の高齢化が進んでおり、エネルギーに満ち溢れた若い人材になかなか挑戦してもらえない業種となってきた感がある。その中で我々、仲立人は保険流通業において若者に明るい未来を見いだしてもいい未来を見いだしている。そのようなこともあり2023年12月、福岡大学において開催されたRIS(全国学生保険学ゼミナール)全国大会へは弊社から3名が出席し、今後企業においてリスクマネジメントを担うであろう学生達との交流を深め保険仲立人の存在を認知してもらおう良い機会となった。RISへは保険仲立人協会も協賛しており今後も協会とともに保険仲立人制度の地道



エヌアイビーのスタッフと平田社長(中央)



焼け落ちた首里城を遠目に眺める人々

現在、弊社では九州・沖縄を中心に財団・国立大学法人・公立大学法人や上場企業、中小企業の保険プログラムの設計に携わっている。定期的に若い人材も仲立人という業務に挑戦してくれており、経験を積んだ中堅スタッフとやる気を持った

若いスタッフがチームとなってクライアント企業とのリスクマネジメントに当たっている。昨今、損害保険業界では代理店の高齢化が進んでおり、エネルギーに満ち溢れた若い人材になかなか挑戦してもらえない業種となってきた感がある。その中で我々、仲立人は保険流通業において若者に明るい未来を見いだしてもいい未来を見いだしている。そのようなこともあり2023年12月、福岡大学において開催されたRIS(全国学生保険学ゼミナール)全国大会へは弊社から3名が出席し、今後企業においてリスクマネジメントを担うであろう学生達との交流を深め保険仲立人の存在を認知してもらおう良い機会となった。RISへは保険仲立人協会も協賛しており今後も協会とともに保険仲立人制度の地道



福岡大学で開催のRISのようす

活用など、代理店の良さと仲立人の良さを使い分け、企業にとっての経済合理性を認識してもらえようになれば、仲立人の活躍の場も増え、日本の損害保険業界も正しい保険流通の形に向かっていけるのではないかと考えている。